報道関係者各位

2025 年 6 月 5 日
株式会社 LIVE BOARD

OOH は次のリーチメディアになれるか？
「2024 年 日本の広告費」を OOH 目線で見たホワイトペーパー公開

株式会社 LIVE BOARD（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 髙木 智広、以下 LIVE BOARD）は、**「テレビでもデジタルでもない、第三の選択肢。OOH は『次のリーチメディア』になれるか？～『日本の広告費 2024』を OOH 目線で見てみる～」**のホワイトペーパーを公開しました。

2025 年 2 月に株式会社電通が発表した「2024 年 日本の広告費」を LIVE BOARD が OOH の視点から分析を行いました。OOH は、情報の拡散力や強制視認性に加え、テクノロジーによって大きな進化を遂げつつある注目の領域です。

本ホワイトペーパーでは、広告市場全体のデータを俯瞰するだけでは見えてこない、「OOH ならではの構造変化」に着目しております。OOH が広告市場において果たすべき役割や直面する課題を明らかにし、OOH が“次のリーチメディア”としてどのように進化できるのかを探っています。

▼ホワイトペーパー構成

1. 広告費_全体概要
2. 広告費_OOH について
3. 2024 年のトピック_テレビデジタルメディアが急速に成長
4. 今後の期待と展望_OOH の復権を目指して

▼このような方におすすめ

- 日本の広告費について詳しく知りたい方
- テレビやデジタルだけではないメディアを模索・検討されている方
- OOH の活用方法や今後の可能性について知りたい方
- これからの広告出稿について思案されている方

▼無料資料ダウンロード

https://liveboard.co.jp/information/202506002687.html

LIVE BOARD では、DOOH 市場の発展のため、これからも調査内容や関連情報を提供していきます。

◆株式会社 LIVE BOARD

データドリブンにターゲティングや効果検証を実現する
デジタル OOH アドネットワークオペレーター

OOH 領域において国内で初めてインプレッション（VAC）※に基づく配信を実現。コロナ禍のような人流変化が起こりやすい状況下でも、“そのとき、その場所で、その広告を”見ると仮定される人数をもとに、限りなく実態に即した広告配信および課金体系を展開。加えて、屋外・屋内、電車内、駅構内など日本全国の多様なデジタル OOH を束ねた独自ネットワークに国内最大級キャリアのビッグデータを掛け合わせることで、性・年代別によるターゲティングなど、従来の OOH では難しかった“ヒト”基点による配信を可能にしました。

※ LIVE BOARD は、OOH グローバルメジャメントガイドラインにて推奨されている、視認調査に基づく視認率を加味したインプレッション（VAC＝Visibility Adjusted Contact / のべ広告視認者数）を採用しています。媒体の視認エリアの中にいる人数（OTS＝Opportunity to See）のうち、OOH 広告に接触する可能性のあるのべ人数（OTC＝Opportunity to Contact / 視認エリア内での移動方向や障害物の有無を考慮）を定義。この数に媒体に応じた視認率を加味することで、実際に広告を見るであろうのべ人数（VAC）を推計しています。

会社名	株式会社 LIVE BOARD
代表者	代表取締役社長 髙木 智広
所在地	東京都渋谷区神宮前 3-1-30 Daiwa 青山ビル 7 階
営業開始日・創立日	2019 年 2 月 1 日
事業内容	デジタル OOH 広告配信プラットフォームの運営、デジタル OOH 広告媒体の開拓、デジタル OOH 広告枠の販売
ホームページ	https://www.liveboard.co.jp

＜本リリースに関するお問合わせ先＞
LIVE BOARD 広報事務局 担当：加藤・鏡
TEL：090-3050-8873 / 03-5843-0932 E-mail：info_press@liveboard.co.jp